

計画の基本的な考え方

第1章

計画の目的

(1) 計画の背景と目的

【背景】

我が国の高齢化率（65歳以上の高齢者人口が総人口に占める割合）は、内閣府の「平成27年版高齢社会白書」によると26.0%^{※1}であり、WHO（世界保健機構）が定義する超高齢社会^{※2}にあたります。平成37年には、高齢化率が30.3%に達すると見込まれています。

高齢化の進展により、生活習慣病など高齢者によくみられる病気にかかる人や、介護が必要となる人の割合が増加し、健康保険や介護保険が支出する医療費、給付費などが増大するため、社会保障制度の持続が難しくなることが懸念されています。

市川市でも、「第6期市川市高齢者福祉計画・介護保険事業計画」によると平成37年の高齢化率は25.5%、要介護認定率^{※3}は23.0%に達すると予想されており、市民の3.9人に1人が高齢者となり、また、高齢者の4.4人に1人が要支援・要介護者となる見込みです。

※1 平成26年10月1日現在 ※2 65歳以上の人口の割合が21%超

※3 介護保険第1号被保険者（65歳以上）に対する65歳以上の要支援・要介護認定者数の割合

【目的】

このような状況のなかで、生活習慣及び社会環境の改善を通じて、子どもから高齢者までのすべての方がお互いに支えあいながら希望や生きがいを持ち、ライフステージに応じて健やかで心豊かに生活できる「誰もが健康なまち」を実現し、その結果、健康保険等の社会保障制度を今後も継続することができるよう、市民の健康の増進の総合的な推進を図ることを計画の目的とします。

この目的を達成するため、「健康寿命の延伸」と「健康格差の縮小」を基本目標とし、誰もが健康なまちづくりを目指します。

(2) 基本理念と基本目標

【基本理念】

「誰もが健康なまち」づくり

子どもから高齢者までのすべての方がお互いに支えあいながら希望や生きがいを持ち、ライフステージに応じて健やかで心豊かに生活できる「誰もが健康なまち」をつくることを基本理念とします。

【基本目標】

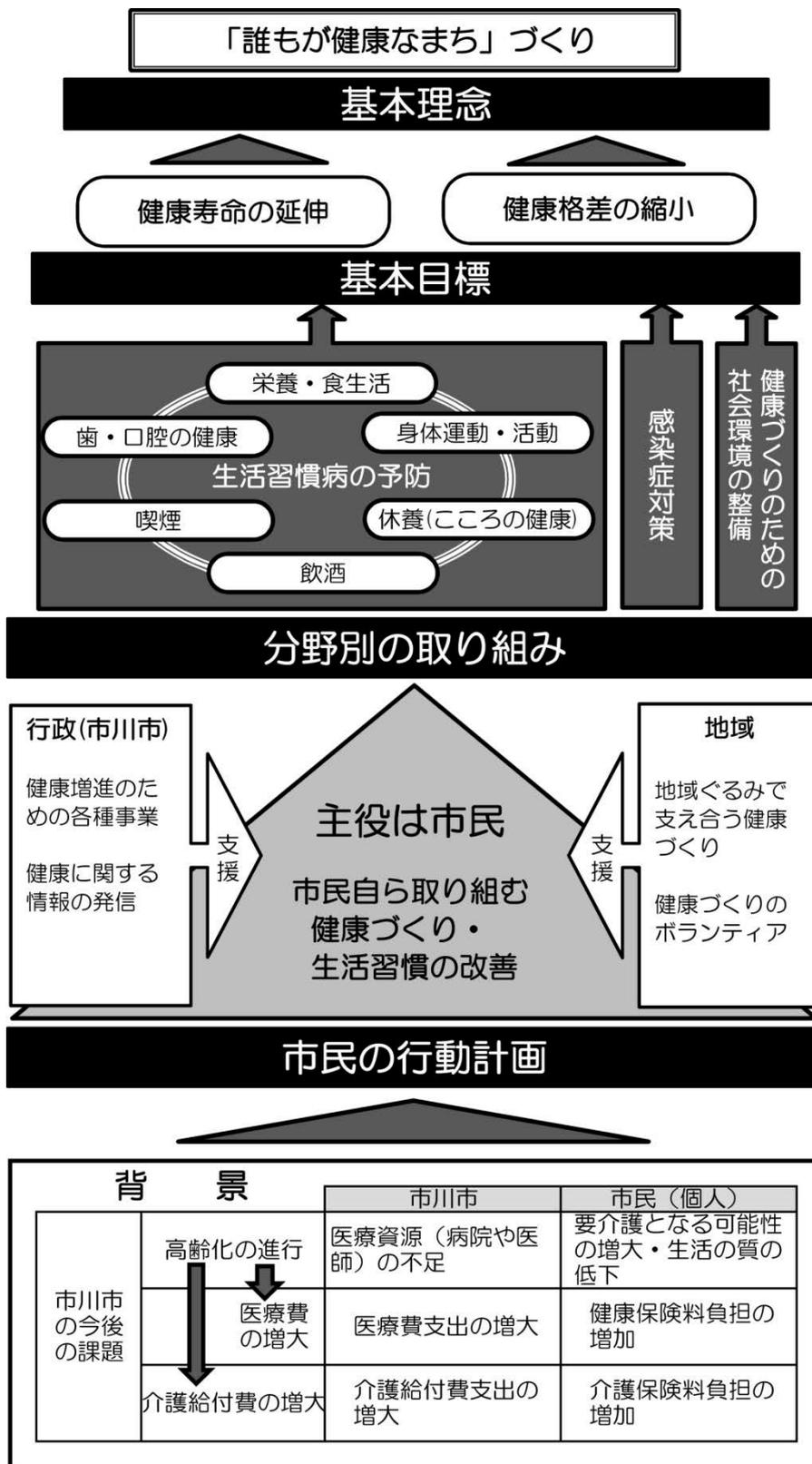
(1) 健康寿命の延伸

生活習慣病の予防、社会生活を営むために必要となる機能の維持向上等による介護予防をとおして、市民の健康寿命（健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間）の延伸を図ります。

(2) 健康格差の縮小

あらゆる世代の健やかな暮らしを支える良好な社会環境の構築と、健康に関する基礎知識の周知により、健康格差（地域とのつながりや、個人による健康情報の収集能力などの違いによる健康状態の差）の縮小を図ります。

【計画の基本的な考え方】



計画の位置づけ

(1) 根拠法令

健康増進法第8条第2項の規定による「市町村健康増進計画」です。

(2) 国、千葉県の計画との関係

国の「健康日本21（第2次）」ならびに千葉県の「健康ちば21（第2次）」の基本的な考え方を勘案し、市民の健康づくりに関する施策についての計画を策定したものです。

(3) 市川市の各計画との関係

1 市川市総合計画との関係

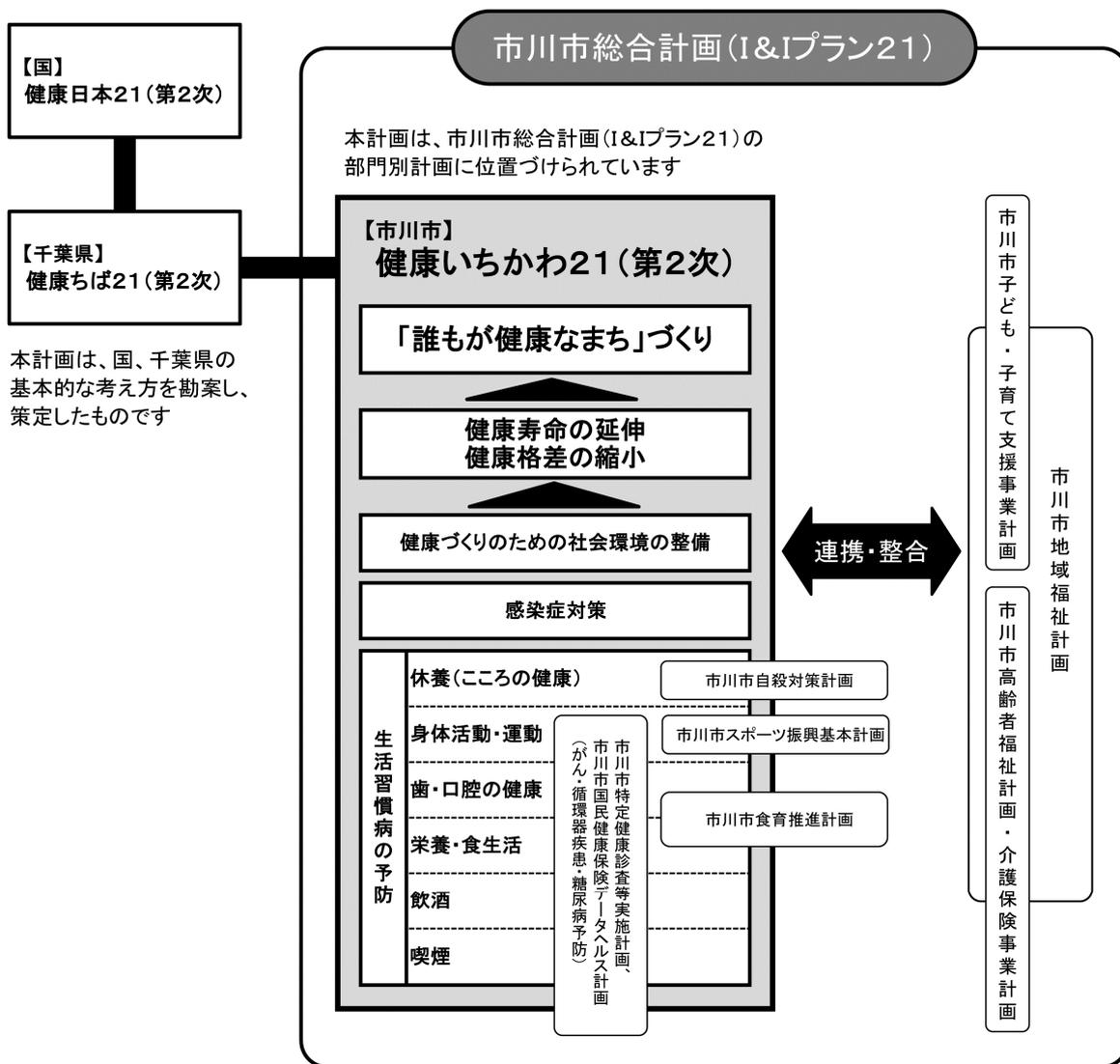
本計画は、「市川市総合計画（I & Iプラン21）」の第二次基本計画における施策分野「保健・医療」のうち、健康づくりの推進に関連する部門別計画です。

2 市川市の他の計画との関係

本計画は、健康づくりにかかわる市川市食育推進計画、市川市スポーツ振興基本計画、市川市自殺対策計画、市川市特定健康診査等実施計画などに関連します。

また、健康づくりは、生涯にわたり行うものであるため、市川市地域福祉計画、市川市子ども・子育て支援事業計画、市川市高齢者福祉計画・介護保険事業計画などの諸計画との整合性を図り、連携して市民の健康増進に取り組みます。

【国、千葉県、市川市の他の計画等との関係】



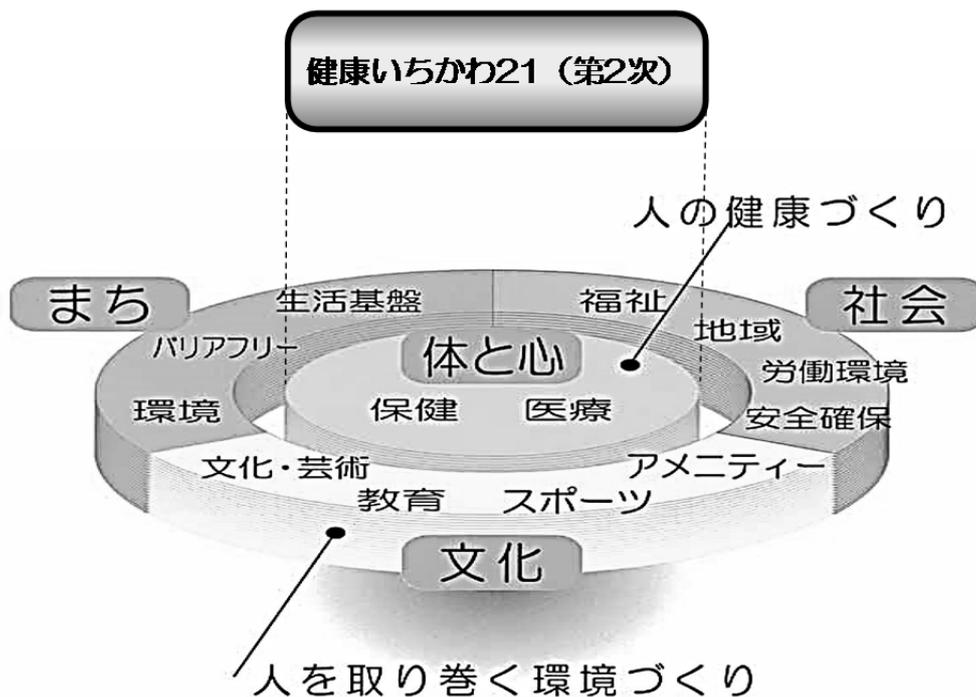
3 健康都市いちかわとの関係

市川市は、平成16年11月にWHO憲章の精神を尊重した「健康都市いちかわ宣言」を行いました。

平成17年3月には、誰もが個々の能力を生かしながら健やかに、生き生きと暮らせる「健康都市いちかわ」を推進するため、「体と心」、「まち」、「社会」、「文化」の4つの施策の柱からなる「市川市健康都市プログラム」をとりまとめました。

市川市健康増進計画（健康いちかわ21）は、平成18年3月の第1次計画策定時から、「市川市健康都市プログラム」の中心分野である「体と心」における「市民の行動計画」として位置付けられています。

【健康都市いちかわとの関係】



※ 平成23年度から「市川市健康都市プログラム」は「市川市総合計画（I & Iプラン21）」に統合されており、第二次基本計画において「いちかわ いろいろアプローチ」（施策横断的な視点）の一つである「健康増進の視点」から健康都市を推進しています。

